

調査名 [原発事故後のコミュニティ便益の享受と自然環境便益の享受における変化(劣悪化)および今後の生活(就業を含む)再建に関するアンケート]

No.	項目名	ページ
2	分類	47
3	I-1(2).性別	47
4	I-1(3).年齢	47
6	I-1(5).居住年数	47
7	I-1(6).居住地域の避難指示区分	47
9	I-2.回答者の避難前の職業	47
12	I-3-1.配偶者との同居	47
13	I-3-1.配偶者の年齢	48
15	I-3-2(1).子供の性別	48
16	I-3-2(1).子供との同居	48
17	I-3-2(1).子供の年齢	48
19	I-3-2(2).子供の性別	48
20	I-3-2(2).子供との同居	48
21	I-3-2(2).子供の年齢	48
23	I-3-2(3).子供の性別	49
24	I-3-2(3).子供との同居	49
25	I-3-2(3).子供の年齢	49
27	I-3-3(1).父親との同居	49
28	I-3-3(1).父親の年齢	49
30	I-3-3(2).母親との同居	49
31	I-3-3(2).母親の年齢	49
32	I-4(1).避難前の居住形態	50
34	I-4(2).避難前の住居の建坪	50
35	I-4(2).避難前の住居の室数	50
36	I-4(2).避難前の住居の築年数	50
37	II-1-1.住民票の所在	50
45	II-1-4.現在の避難先での家族構成	50
47	II-1-5(1).現在の住居	51
49	II-1-5(2).現在の居住形態	51
51	II-1-5(3).現在の住居の建坪	51
52	II-1-5(3).現在の住居の室数	51
53	II-1-5(3).現在の住居の築年数	51
55	II-2-1(1).避難前の食料の年間購入量	51
56	II-2-1(1)①a.避難前の食料の年間購入量/米の購入量	52
57	II-2-1(1)①b.避難前の食料の年間購入量/米の自給量	52
58	II-2-1(1)①c.避難前の食料の年間購入量/米を贈与された量	52
59	II-2-1(1)②.避難前の食料の年間購入量/野菜の購入金額	52
60	II-2-1(2).避難地での食料の年間購入量	52
61	II-2-1(2)①a.避難地での食料の年間購入量/米の購入量	52
62	II-2-1(2)①b.避難地での食料の年間購入量/米の自給量	53
63	II-2-1(2)①c.避難地での食料の年間購入量/米を贈与された量	53
64	II-2-1(2)②.避難地での食料の年間購入量/野菜の購入金額	53
65	II-2-1(3).避難地での米の品質・食味	53
67	II-2-1(5).帰郷地での食料の年間購入量	53
68	II-2-1(5)①a.帰郷地での食料の年間購入量/米の購入量	53
69	II-2-1(5)①b.帰郷地での食料の年間購入量/米の自給量	54
70	II-2-1(5)①c.帰郷地での食料の年間購入量/米を贈与された量	54
71	II-2-1(5)②.帰郷地での食料の年間購入量/野菜の購入金額	54
72	II-2-1(6).帰郷地での米の品質・食味	54
73	II-3-1(1).避難後の自然環境を利用するレジャー/年間の実施・訪問回数の変化	54
74	II-3-1(2).避難後の自然環境を利用するレジャー/年間費用の変化	54
75	II-3-1(3).避難後の自然環境を利用するレジャー/自然環境を利用するどのようなレジャーの増減が生活への影響が大きかったか	55
77	II-3-1(4).避難後の自然環境を利用するレジャー/最も生活への影響が大きかった項目	55
79	II-3-2(1).避難後の民間・公共施設を利用するレジャー/年間の利用回数の変化	55
80	II-3-2(2).避難後の民間・公共施設を利用するレジャー/年間費用の変化	55
81	II-3-2(3).避難後の民間・公共施設を利用するレジャー/民間・公共施設を利用するどのようなレジャーの増減が生活への影響が大きかったか	55
83	II-4-1(1).避難前後の職業の変化	55
85	II-4-1(2).現在の業種	56
87	II-4-1(3).回答者の現在の雇用先	56
89	II-4-1(4).回答者の現在の雇用形態	56
90	II-4-1(5).回答者の現在の雇用契約期間	56
91	II-4-2(1).避難地での公的な職業訓練および人材育成事業への参加	56
93	II-4-2(2).参加した職業訓練および人材育成事業	56
162	II-4-2(3).職業訓練および人材育成事業での研修期間	57
98	II-4-2(4).職業訓練および人材育成事業の研修を受けた理由	57
100	II-4-2(5).職業訓練および人材育成事業により習得した資格の有無	57
104	II-4-3.避難地での再就職・転職のためのハローワーク(職業の斡旋)の利用	57
106	II-4-4.避難地で前の職業と関連する企業、関連する団体、関連する個人、に直接雇用されていましたか、あるいは現在も雇用されていますか	57
107	II-4-5.どのような関連する企業、関連する団体、関連する個人ですか	58
109	II-5-1(1).避難前での近隣者との無償で行っている相互扶助の種類	58
111	II-5-1(2).避難前での近隣者との無償で行っている相互扶助の頻度	58
112	II-5-2(1).避難地での近隣者との無償で行っている相互扶助の種類	58

調査名 [原発事故後のコミュニティ便益の享受と自然環境便益の享受における変化（劣悪化）および今後の生活（就業を含む）再建に関するアンケート]

No.	項目名	ページ
114	Ⅱ-5-2(2). 避難地での近隣者との無償で行っている相互扶助の頻度	58
115	Ⅱ-5-3①. 避難開始から現在までの故郷への訪問回数	59
116	Ⅱ-5-3②. 避難開始から現在までの故郷への訪問の総費用	59
117	Ⅱ-5-4(1). 避難前の故郷の市町村や町会主催のお祭りに参加した頻度	59
118	Ⅱ-5-4(2). 避難地での故郷の市町村や町会主催のお祭りに参加した頻度	59
119	Ⅱ-5-5(1). 帰郷後の近隣者との無償で行っている相互扶助の種類	59
121	Ⅱ-5-5(2). 帰郷後の近隣者との無償で行っている相互扶助の頻度	59
122	Ⅱ-5-6(1). 避難前の故郷の市町村や町会主催のお祭りに参加した頻度	59
123	Ⅱ-5-6(2). 帰郷後の故郷の市町村や町会主催のお祭りに参加した頻度	60
124	Ⅲ-1. 希望する帰郷の形態	60
127	Ⅲ-2. どのような形態の復興住宅を希望しますか	60
128	Ⅲ-2-1. 行政が提供する戸建ではない復興住宅へ入居するならば、どのような地域であれば納得できますか	60
130	Ⅲ-2-2. 理想的な帰郷のイメージ	60
132	Ⅲ-3. 元の県内の市町村に帰郷するまでの許容年数	61
133	Ⅲ-4. 具体的な転居希望先	61
137	Ⅲ-5. 帰郷後の職業の選択	61
140	Ⅳ-1. 現在、原発事故原因者（東電や国等）を提訴（訴訟を提起）していますか	61
142	Ⅳ-2. 集団訴訟の原告団に参加されていますか	61

調査名 [原発事故後のコミュニティ便益の享受と自然環境便益の享受における変化（劣悪化）および今後の生活（就業を含む）再建に関するアンケート]

分類

No.	カテゴリー名	n	%
1	A	52	49.1
2	B	29	27.4
3	C	25	23.6
4	D	0	0.0
	不明	0	0.0
	全体	106	100.0

I-1(2). 性別

No.	カテゴリー名	n	%
1	男性	65	61.3
2	女性	41	38.7
	不明	0	0.0
	全体	106	100.0

I-1(3). 年齢

No.	カテゴリー名	n	%
1	10代	0	0.0
2	20代	2	1.9
3	30代	6	5.7
4	40代	16	15.1
5	50代	16	15.1
6	60代	37	34.9
7	70代	22	20.8
8	80代以上	6	5.7
	不明	1	0.9
	全体	106	100.0

I-1(5). 居住年数

No.	カテゴリー名	n	%
1	0～9年	8	7.5
2	10～19年	7	6.6
3	20～29年	14	13.2
4	30～39年	10	9.4
5	40年以上	64	60.4
	不明	3	2.8
	全体	106	100.0

I-1(6). 居住地域の避難指示区分

No.	カテゴリー名	n	%
1	帰宅困難区域	12	11.3
2	居住制限区域	31	29.2
3	避難指示解除準備区域	42	39.6
4	旧緊急時避難準備区域	19	17.9
5	その他	2	1.9
	不明	0	0.0
	全体	106	100.0

I-2. 回答者の避難前の職業

No.	カテゴリー名	n	%
1	農林業	22	20.8
2	水産業	0	0.0
3	他の自営業	11	10.4
4	会社員	25	23.6
5	団体職員	1	0.9
6	公務員	13	12.3
7	年金受給	17	16.0
8	その他	15	14.2
	不明	2	1.9
	全体	106	100.0

I-3-1. 配偶者との同居

No.	カテゴリー名	n	%
1	同居	73	68.9
2	別居	4	3.8
	不明	29	27.4
	全体	106	100.0

調査名 [原発事故後のコミュニティ便益の享受と自然環境便益の享受における変化（劣悪化）および今後の生活（就業を含む）再建に関するアンケート]

I-3-1. 配偶者の年齢

No.	カテゴリー名	n	%
1	20代	1	0.9
2	30代	6	5.7
3	40代	9	8.5
4	50代	18	17.0
5	60代	27	25.5
6	70代	12	11.3
7	80代以上	1	0.9
	不明	32	30.2
	全体	106	100.0

I-3-2(1). 子供の性別

No.	カテゴリー名	n	%
1	男性	52	49.1
2	女性	24	22.6
	不明	30	28.3
	全体	106	100.0

I-3-2(1). 子供との同居

No.	カテゴリー名	n	%
1	同居	34	32.1
2	別居	37	34.9
	不明	35	33.0
	全体	106	100.0

I-3-2(1). 子供の年齢

No.	カテゴリー名	n	%
1	10代以下	17	16.0
2	20代	17	16.0
3	30代	14	13.2
4	40代	21	19.8
5	50代	2	1.9
6	60代以上	4	3.8
	不明	31	29.2
	全体	106	100.0

I-3-2(2). 子供の性別

No.	カテゴリー名	n	%
1	男性	29	27.4
2	女性	33	31.1
	不明	44	41.5
	全体	106	100.0

I-3-2(2). 子供との同居

No.	カテゴリー名	n	%
1	同居	26	24.5
2	別居	32	30.2
	不明	48	45.3
	全体	106	100.0

I-3-2(2). 子供の年齢

No.	カテゴリー名	n	%
1	10代以下	15	14.2
2	20代	12	11.3
3	30代	12	11.3
4	40代	10	9.4
5	50代	3	2.8
6	60代以上	3	2.8
	不明	51	48.1
	全体	106	100.0

調査名 [原発事故後のコミュニティ便益の享受と自然環境便益の享受における変化（劣悪化）および今後の生活（就業を含む）再建に関するアンケート]

I-3-2(3). 子供の性別

No.	カテゴリー名	n	%
1	男性	11	10.4
2	女性	18	17.0
	不明	77	72.6
	全体	106	100.0

I-3-2(3). 子供との同居

No.	カテゴリー名	n	%
1	同居	10	9.4
2	別居	18	17.0
	不明	78	73.6
	全体	106	100.0

I-3-2(3). 子供の年齢

No.	カテゴリー名	n	%
1	10代以下	10	9.4
2	20代	4	3.8
3	30代	9	8.5
4	40代	3	2.8
5	50代	0	0.0
6	60代以上	1	0.9
	不明	79	74.5
	全体	106	100.0

I-3-3(1). 父親との同居

No.	カテゴリー名	n	%
1	同居	16	15.1
2	別居	10	9.4
	不明	80	75.5
	全体	106	100.0

I-3-3(1). 父親の年齢

No.	カテゴリー名	n	%
1	30代	0	0.0
2	40代	0	0.0
3	50代	1	0.9
4	60代	4	3.8
5	70代	10	9.4
6	80代以上	11	10.4
	不明	80	75.5
	全体	106	100.0

I-3-3(2). 母親との同居

No.	カテゴリー名	n	%
1	同居	22	20.8
2	別居	14	13.2
	不明	70	66.0
	全体	106	100.0

I-3-3(2). 母親の年齢

No.	カテゴリー名	n	%
1	30代	0	0.0
2	40代	0	0.0
3	50代	1	0.9
4	60代	5	4.7
5	70代	11	10.4
6	80代以上	25	23.6
	不明	64	60.4
	全体	106	100.0

調査名 [原発事故後のコミュニティ便益の享受と自然環境便益の享受における変化（劣悪化）および今後の生活（就業を含む）再建に関するアンケート]

I-4(1). 避難前の居住形態

No.	カテゴリー名	n	%
1	戸建持家	96	90.6
2	分譲マンション	0	0.0
3	戸建借家	3	2.8
4	賃貸マンション	1	0.9
5	民間アパート	1	0.9
6	公営住宅	2	1.9
7	その他	1	0.9
	不明	2	1.9
	全体	106	100.0

I-4(2). 避難前の住居の建坪

合計	4976.13
平均	57.86
分散(n-1)	1636.71
標準偏差	40.46
最大値	360.00
最小値	10.00
不明	20
全体	86

I-4(2). 避難前の住居の室数

合計	663.00
平均	7.13
分散(n-1)	8.81
標準偏差	2.97
最大値	19.00
最小値	2.00
不明	13
全体	93

I-4(2). 避難前の住居の築年数

合計	3340.40
平均	34.44
分散(n-1)	539.74
標準偏差	23.23
最大値	113.00
最小値	0.30
不明	9
全体	97

II-1-1. 住民票の所在

No.	カテゴリー名	n	%
1	避難前の居住市町村	84	79.2
2	避難先の市町村	20	18.9
	不明	2	1.9
	全体	106	100.0

II-1-4. 現在の避難先での家族構成

No.	カテゴリー名	n	%
1	配偶者と同居	60	56.6
2	子供1人と同居	9	8.5
3	子供2人と同居	13	12.3
4	子供3人以上と同居	5	4.7
5	父と同居	6	5.7
6	母と同居	14	13.2
7	親族と同居	1	0.9
8	同居者なし	13	12.3
9	その他の人と同居	1	0.9
	不明	24	22.6
	全体	106	100.0

累計	(n)	累計	(%)
	146		137.7

調査名 [原発事故後のコミュニティ便益の享受と自然環境便益の享受における変化（劣悪化）および今後の生活（就業を含む）再建に関するアンケート]

II-1-5(1). 現在の住居

No.	カテゴリー名	n	%
1	避難前の住居	7	6.6
2	行政の応急仮設住宅	31	29.2
3	民間借り上げ住宅（みなし仮設住宅）	37	34.9
4	避難地でのみなしではない賃貸住居	5	4.7
5	避難地での新築住居	3	2.8
6	親族の住居に同居	1	0.9
7	親族の住居に家族だけで居住	0	0.0
8	その他	6	5.7
	不明	16	15.1
	全体	106	100.0

II-1-5(2). 現在の居住形態

No.	カテゴリー名	n	%
1	戸建持家	11	20.8
2	分譲マンション	1	1.9
3	戸建借家	15	28.3
4	賃貸マンション	6	11.3
5	民間アパート	19	35.8
6	公営住宅	0	0.0
7	その他	0	0.0
	不明	1	1.9
	非該当	53	
	全体	53	100.0

II-1-5(3). 現在の住居の建坪

合計	1149.20
平均	28.03
分散(n-1)	200.92
標準偏差	14.17
最大値	60.00
最小値	8.00
不明	12
非該当	53
全体	41

II-1-5(3). 現在の住居の室数

合計	197.00
平均	4.02
分散(n-1)	3.98
標準偏差	1.99
最大値	10.00
最小値	1.00
不明	4
非該当	53
全体	49

II-1-5(3). 現在の住居の築年数

合計	946.00
平均	21.50
分散(n-1)	170.21
標準偏差	13.05
最大値	40.00
最小値	0.00
不明	9
非該当	53
全体	44

II-2-1(1). 避難前の食料の年間購入量

No.	カテゴリー名	n	%
1	米の購入量	41	38.7
2	米の自給量	34	32.1
3	米を贈与された量	28	26.4
4	野菜の購入金額	42	39.6
	不明	30	28.3
	全体	106	100.0

累計	(n)	累計	(%)
	175		165.1

調査名 [原発事故後のコミュニティ便益の享受と自然環境便益の享受における変化（劣悪化）および今後の生活（就業を含む）再建に関するアンケート]

II-2-1(1)①a. 避難前の食料の年間購入量／米の購入量

合計	8888.00
平均	216.78
分散(n-1)	31615.98
標準偏差	177.81
最大値	800.00
最小値	0.00
不明	0
非該当	65
全体	41

II-2-1(1)①b. 避難前の食料の年間購入量／米の自給量

合計	7912.30
平均	247.26
分散(n-1)	23668.22
標準偏差	153.84
最大値	720.00
最小値	2.30
不明	2
非該当	72
全体	32

II-2-1(1)①c. 避難前の食料の年間購入量／米を贈与された量

合計	3527.00
平均	125.96
分散(n-1)	17887.15
標準偏差	133.74
最大値	600.00
最小値	0.00
不明	0
非該当	78
全体	28

II-2-1(1)②. 避難前の食料の年間購入量／野菜の購入金額

合計	6199000.00
平均	151195.12
分散(n-1)	25315460975.61
標準偏差	159108.33
最大値	600000.00
最小値	0.00
不明	1
非該当	64
全体	41

II-2-1(2). 避難地での食料の年間購入量

No.	カテゴリー名	n	%
1	米の購入量	73	68.9
2	米の自給量	8	7.5
3	米を贈与された量	28	26.4
4	野菜の購入金額	64	60.4
	不明	28	26.4
	全体	106	100.0

累計	(n)	累計	(%)
	201		189.6

II-2-1(2)①a. 避難地での食料の年間購入量／米の購入量

合計	11445.00
平均	158.96
分散(n-1)	17369.51
標準偏差	131.79
最大値	780.00
最小値	20.00
不明	1
非該当	33
全体	72

調査名 [原発事故後のコミュニティ便益の享受と自然環境便益の享受における変化(劣悪化)および今後の生活(就業を含む)再建に関するアンケート]

II-2-1(2)①b. 避難地での食料の年間購入量/米の自給量

合計	1150.00
平均	164.29
分散(n-1)	57528.57
標準偏差	239.85
最大値	700.00
最小値	0.00
不明	1
非該当	98
全体	7

II-2-1(2)①c. 避難地での食料の年間購入量/米を贈与された量

合計	1103.00
平均	39.39
分散(n-1)	4461.65
標準偏差	66.80
最大値	360.00
最小値	2.00
不明	0
非該当	78
全体	28

II-2-1(2)②. 避難地での食料の年間購入量/野菜の購入金額

合計	10768500.00
平均	168257.81
分散(n-1)	31157174541.17
標準偏差	176513.95
最大値	800000.00
最小値	5000.00
不明	0
非該当	42
全体	64

II-2-1(3). 避難地での米の品質・食味

No.	カテゴリー名	n	%
1	避難前と同一品種・食味向上	5	4.7
2	避難前と同一品種・食味近似	30	28.3
3	避難前と同一品種・食味落ち	15	14.2
4	避難前と異品種・食味向上	5	4.7
5	避難前と異品種・食味近似	12	11.3
6	避難前と異品種・食味落ち	18	17.0
	不明	25	23.6
	全体	106	100.0

累計	(n)	累計	(%)
	110		103.8

II-2-1(5). 帰郷地での食料の年間購入量

No.	カテゴリー名	n	%
1	米の購入量	14	13.2
2	米の自給量	8	7.5
3	米を贈与された量	3	2.8
4	野菜の購入金額	14	13.2
	不明	87	82.1
	全体	106	100.0

累計	(n)	累計	(%)
	126		118.9

II-2-1(5)①a. 帰郷地での食料の年間購入量/米の購入量

合計	3040.00
平均	217.14
分散(n-1)	10683.52
標準偏差	103.36
最大値	400.00
最小値	60.00
不明	0
非該当	92
全体	14

調査名 [原発事故後のコミュニティ便益の享受と自然環境便益の享受における変化(劣悪化)および今後の生活(就業を含む)再建に関するアンケート]

II-2-1(5)①b. 帰郷地での食料の年間購入量/米の自給量

合計	1560.00
平均	222.86
分散(n-1)	26057.14
標準偏差	161.42
最大値	480.00
最小値	60.00
不明	1
非該当	98
全体	7

II-2-1(5)①c. 帰郷地での食料の年間購入量/米を贈与された量

合計	160.00
平均	53.33
分散(n-1)	1633.33
標準偏差	40.41
最大値	90.00
最小値	10.00
不明	0
非該当	103
全体	3

II-2-1(5)②. 帰郷地での食料の年間購入量/野菜の購入金額

合計	1205000.00
平均	92692.31
分散(n-1)	4194230769.23
標準偏差	64762.88
最大値	240000.00
最小値	10000.00
不明	1
非該当	92
全体	13

II-2-1(6). 帰郷地での米の品質・食味

No.	カテゴリー名	n	%
1	避難前と同一品種・食味向上	6	5.7
2	避難前と同一品種・食味近似	10	9.4
3	避難前と同一品種・食味落ち	0	0.0
4	避難前と異品種・食味向上	1	0.9
5	避難前と異品種・食味近似	3	2.8
6	避難前と異品種・食味落ち	1	0.9
	不明	85	80.2
	全体	106	100.0

累計	(n)	累計	(%)
	106		100.0

II-3-1(1). 避難後の自然環境を利用するレジャー/年間の実施・訪問回数の変化

No.	カテゴリー名	n	%
1	かなり減った	66	62.3
2	やや減った	12	11.3
3	変化なし	7	6.6
4	やや増えた	6	5.7
5	かなり増えた	2	1.9
	不明	13	12.3
	全体	106	100.0

II-3-1(2). 避難後の自然環境を利用するレジャー/年間費用の変化

No.	カテゴリー名	n	%
1	かなり減った	37	34.9
2	やや減った	18	17.0
3	変化なし	14	13.2
4	やや増えた	11	10.4
5	かなり増えた	8	7.5
	不明	18	17.0
	全体	106	100.0

調査名 [原発事故後のコミュニティ便益の享受と自然環境便益の享受における変化(劣悪化)および今後の生活(就業を含む)再建に関するアンケート]

II-3-1(3). 避難後の自然環境を利用するレジャー/自然環境を利用するどのようなレジャーの増減が生活への影響が大きかったか

No.	カテゴリー名	n	%
1	キャンプ	6	5.7
2	山登り	20	18.9
3	川遊び	10	9.4
4	山菜取り・キノコ採り	55	51.9
5	釣り	30	28.3
6	温泉への小旅行	42	39.6
7	海水浴	20	18.9
8	その他	13	12.3
	不明	22	20.8
	全体	106	100.0

累計	(n)	累計	(%)
	218		205.7

II-3-1(4). 避難後の自然環境を利用するレジャー/最も生活への影響が大きかった項目

No.	カテゴリー名	n	%
1	キャンプ	0	0.0
2	山登り	5	6.0
3	川遊び	0	0.0
4	山菜取り・キノコ採り	31	36.9
5	釣り	8	9.5
6	温泉への小旅行	12	14.3
7	海水浴	6	7.1
8	その他	4	4.8
	不明	18	21.4
	非該当	22	
	全体	84	100.0

II-3-2(1). 避難後の民間・公共施設を利用するレジャー/年間の利用回数の変化

No.	カテゴリー名	n	%
1	かなり減った	29	27.4
2	やや減った	14	13.2
3	変化なし	16	15.1
4	やや増えた	28	26.4
5	かなり増えた	3	2.8
	不明	16	15.1
	全体	106	100.0

II-3-2(2). 避難後の民間・公共施設を利用するレジャー/年間費用の変化

No.	カテゴリー名	n	%
1	かなり減った	24	22.6
2	やや減った	12	11.3
3	変化なし	17	16.0
4	やや増えた	28	26.4
5	かなり増えた	7	6.6
	不明	18	17.0
	全体	106	100.0

II-3-2(3). 避難後の民間・公共施設を利用するレジャー/民間・公共施設を利用するどのようなレジャーの増減が生活への影響が大きかったか

No.	カテゴリー名	n	%
1	行楽地や遊園地への小旅行	42	39.6
2	博物館や美術館めぐり	14	13.2
3	スポーツ観戦	10	9.4
4	イベント・コンサートへの参加	28	26.4
5	商業施設での買い物	44	41.5
6	その他	8	7.5
	不明	23	21.7
	全体	106	100.0

累計	(n)	累計	(%)
	169		159.4

II-4-1(1). 避難前後の職業の変化

No.	カテゴリー名	n	%
1	避難前と同じ職業	29	27.4
2	避難前と異なる職業	15	14.2
3	就業から無職(年金受給者を含む)へ	31	29.2
4	年金受給の継続	17	16.0
5	その他	4	3.8
	不明	10	9.4
	全体	106	100.0

調査名 [原発事故後のコミュニティ便益の享受と自然環境便益の享受における変化（劣悪化）および今後の生活（就業を含む）再建に関するアンケート]

II-4-1(2). 現在の業種

No.	カテゴリー名	n	%
1	農林業	2	4.5
2	水産業	0	0.0
3	他の自営業	3	6.8
4	会社員	16	36.4
5	団体職員	1	2.3
6	公務員	12	27.3
7	その他	8	18.2
	不明	2	4.5
	非該当	62	
	全体	44	100.0

II-4-1(3). 回答者の現在の雇用先

No.	カテゴリー名	n	%
1	オフィス	7	41.2
2	店舗	1	5.9
3	工場	0	0.0
4	その他	6	35.3
	不明	3	17.6
	非該当	89	
	全体	17	100.0

II-4-1(4). 回答者の現在の雇用形態

No.	カテゴリー名	n	%
1	パートタイム	0	0.0
2	フルタイム	13	76.5
	不明	4	23.5
	非該当	89	
	全体	17	100.0

II-4-1(5). 回答者の現在の雇用契約期間

No.	カテゴリー名	n	%
1	1年未満	3	17.6
2	1年～3年	2	11.8
3	4年～9年	1	5.9
4	10年以上	6	35.3
	不明	5	29.4
	非該当	89	
	全体	17	100.0

II-4-2(1). 避難地での公的な職業訓練および人材育成事業への参加

No.	カテゴリー名	n	%
1	有	8	7.5
2	無	74	69.8
	不明	24	22.6
	全体	106	100.0

II-4-2(2). 参加した職業訓練および人材育成事業

No.	カテゴリー名	n	%
1	「福島県の産業人材育成」事業	1	12.5
2	「震災復興訓練計画」事業	0	0.0
3	協同組合や民間企業が行っている職業訓練・人材育成事業	0	0.0
4	その他の職業訓練・人材育成事業	7	87.5
	不明	1	12.5
	非該当	98	
	全体	8	100.0

累計	(n)	累計	(%)
	9		112.5

調査名 [原発事故後のコミュニティ便益の享受と自然環境便益の享受における変化（劣悪化）および今後の生活（就業を含む）再建に関するアンケート]

(162) II-4-2(3). 職業訓練および人材育成事業での研修期間... (数量)

合計	24.00
平均	4.80
分散(n-1)	2.70
標準偏差	1.64
最大値	7.00
最小値	3.00
不明	3
非該当	98
全体	5

II-4-2(4). 職業訓練および人材育成事業の研修を受けた理由

No.	カテゴリー名	n	%
1	前職の技能・ノウハウの維持	0	0.0
2	転職のための新規の技能・ノウハウの獲得	4	50.0
3	職業訓練を受ける具体的な目的は無かった	0	0.0
4	その他	1	12.5
	不明	3	37.5
	非該当	98	
	全体	8	100.0

累計	(n)	累計	(%)
	8		100.0

II-4-2(5). 職業訓練および人材育成事業により習得した資格の有無

No.	カテゴリー名	n	%
1	有	3	37.5
2	無	3	37.5
	不明	2	25.0
	非該当	98	
	全体	8	100.0

II-4-3. 避難地での再就職・転職のためのハローワーク（職業の斡旋）の利用

No.	カテゴリー名	n	%
1	有	18	17.0
2	無	42	39.6
	不明	46	43.4
	全体	106	100.0

II-4-4. 避難地で前の職業と関連する企業、関連する団体、関連する個人、に直接雇用されていましたが、あるいは現在も雇用されていますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	12	11.3
2	いいえ	43	40.6
	不明	51	48.1
	全体	106	100.0

調査名 [原発事故後のコミュニティ便益の享受と自然環境便益の享受における変化（劣悪化）および今後の生活（就業を含む）再建に関するアンケート]

II-4-5. どのような関連する企業、関連する団体、関連する個人ですか

No.	カテゴリー名	n	%
1	親会社	2	16.7
2	子会社	1	8.3
3	本店	0	0.0
4	支店	1	8.3
5	関連会社	0	0.0
6	取引先	0	0.0
7	フランチャイザー	0	0.0
8	代理店契約先	0	0.0
9	所属協同組合	0	0.0
10	所属労働組合	0	0.0
11	避難前の居住自治体	6	50.0
12	避難地の自治体	0	0.0
13	個人	0	0.0
14	その他	2	16.7
	不明	0	0.0
	非該当	94	
	全体	12	100.0

累計	(n)	累計	(%)
	12		100.0

II-5-1(1). 避難前での近隣者との無償で行っている相互扶助の種類 (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	子育ての協力	14	13.2
2	介護の協力	12	11.3
3	食料の融通関係	37	34.9
4	自営業での協力関係 [ゆい]	19	17.9
5	防犯・防災活動の協働	34	32.1
6	その他	10	9.4
	不明	39	36.8
	全体	106	100.0

累計	(n)	累計	(%)
	165		155.7

II-5-1(2). 避難前での近隣者との無償で行っている相互扶助の頻度

No.	カテゴリー名	n	%
1	週4回以上	5	4.7
2	週3~1回程度	8	7.5
3	月3~1回程度	30	28.3
4	半年に6回未満	22	20.8
	不明	41	38.7
	全体	106	100.0

II-5-2(1). 避難地での近隣者との無償で行っている相互扶助の種類 (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	子育ての協力	3	2.8
2	介護の協力	3	2.8
3	食料の融通関係	12	11.3
4	自営業での協力関係 [ゆい]	4	3.8
5	防犯・防災活動の協働	8	7.5
6	その他	16	15.1
	不明	69	65.1
	全体	106	100.0

累計	(n)	累計	(%)
	115		108.5

II-5-2(2). 避難地での近隣者との無償で行っている相互扶助の頻度

No.	カテゴリー名	n	%
1	週4回以上	3	2.8
2	週3~1回程度	5	4.7
3	月3~1回程度	7	6.6
4	半年に6回未満	19	17.9
	不明	72	67.9
	全体	106	100.0

調査名 [原発事故後のコミュニティ便益の享受と自然環境便益の享受における変化（劣悪化）および今後の生活（就業を含む）再建に関するアンケート]

II-5-3①. 避難開始から現在までの故郷への訪問回数

合計	3003.00
平均	42.30
分散(n-1)	5251.61
標準偏差	72.47
最大値	540.00
最小値	1.00
不明	35
全体	71

II-5-3②. 避難開始から現在までの故郷への訪問の総費用

合計	15575.80
平均	293.88
分散(n-1)	221903.78
標準偏差	471.07
最大値	2700.00
最小値	1.80
不明	53
全体	53

II-5-4(1). 避難前の故郷の市町村や町会主催のお祭りに参加した頻度

No.	カテゴリー名	n	%
1	年4回以上	34	32.1
2	年3回	12	11.3
3	年2回	12	11.3
4	年1回以下	13	12.3
	不明	35	33.0
	全体	106	100.0

II-5-4(2). 避難地での故郷の市町村や町会主催のお祭りに参加した頻度

No.	カテゴリー名	n	%
1	年4回以上	5	4.7
2	年3回	6	5.7
3	年2回	7	6.6
4	年1回以下	44	41.5
	不明	44	41.5
	全体	106	100.0

II-5-5(1). 帰郷後の近隣者との無償で行っている相互扶助の種類(MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	子育ての協力	2	1.9
2	介護の協力	6	5.7
3	食料の融通関係	6	5.7
4	自営業での協力関係 [ゆい]	5	4.7
5	防犯・防災活動の協働	12	11.3
6	その他	3	2.8
	不明	84	79.2
	全体	106	100.0

累計	(n)	累計	(%)
	118		111.3

II-5-5(2). 帰郷後の近隣者との無償で行っている相互扶助の頻度

No.	カテゴリー名	n	%
1	週4回以上	0	0.0
2	週3~1回程度	1	0.9
3	月3~1回程度	8	7.5
4	半年に6回未満	10	9.4
	不明	87	82.1
	全体	106	100.0

II-5-6(1). 避難前の故郷の市町村や町会主催のお祭りに参加した頻度

No.	カテゴリー名	n	%
1	年4回以上	14	13.2
2	年3回	2	1.9
3	年2回	9	8.5
4	年1回	4	3.8
5	不参加	1	0.9
	不明	76	71.7
	全体	106	100.0

調査名 [原発事故後のコミュニティ便益の享受と自然環境便益の享受における変化(劣悪化)および今後の生活(就業を含む)再建に関するアンケート]

II-5-6(2). 帰郷後の故郷の市町村や町会主催のお祭りに参加した頻度

No.	カテゴリー名	n	%
1	年4回以上	5	4.7
2	年3回	2	1.9
3	年2回	4	3.8
4	年1回	9	8.5
5	不参加	8	7.5
	不明	78	73.6
	全体	106	100.0

III-1. 希望する帰郷の形態

No.	カテゴリー名	n	%
1	元の住居あるいは居住コミュニティ(行政区)への帰郷	23	21.7
2	元の市町村内の近隣コミュニティへの帰郷	6	5.7
3	福島県内の元の郡内だが元の市町村以外への帰郷	6	5.7
4	福島県内の元の郡以外への帰郷	19	17.9
5	県外への移住	10	9.4
6	その他	12	11.3
	不明	34	32.1
	全体	106	100.0

累計 (n)	累計 (%)
110	103.8

III-2. どのような形態の復興住宅を希望しますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	戸建の分散居住型の復興住宅	30	28.3
2	集合(マンション)型の復興住宅	2	1.9
3	戸建の団地型の復興住宅	5	4.7
4	復興ニュータウン内の戸建の復興住宅	6	5.7
5	復興ニュータウン内の店舗付き戸建の復興住宅	6	5.7
6	復興ニュータウン内の農場(付帯山林の入会権を含む)付き戸建の復興住宅	3	2.8
7	復興ニュータウン内の集合(マンション)型の復興住宅	0	0.0
8	その他	14	13.2
	不明	43	40.6
	全体	106	100.0

累計 (n)	累計 (%)
109	102.8

III-2-1. 行政が提供する戸建ではない復興住宅へ入居するならば、どのような地域であれば納得できますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	元の住居あるいは居住コミュニティ(行政区)内の復興住宅	1	50.0
2	近隣コミュニティ(元の市町村内)の復興住宅	1	50.0
3	福島県内の元の郡内の復興住宅	0	0.0
4	福島県内の元の郡以外の復興住宅	0	0.0
5	県外の復興住宅	0	0.0
6	その他	0	0.0
	不明	0	0.0
	非該当	104	
	全体	2	100.0

累計 (n)	累計 (%)
2	100.0

III-2-2. 理想的な帰郷のイメージ

No.	カテゴリー名	n	%
1	各世帯がそれぞれ、自由に帰郷先の地域を選んで帰郷する	24	50.0
2	旧コミュニティ(行政区)に居住していた複数世帯が自発的に任意の集団(近隣者および親族による)を作り、帰郷する	3	6.3
3	旧コミュニティ(行政区)に居住していた複数世帯が市町村の斡旋で集団を作り、帰郷する	1	2.1
4	旧町村と類似した規模と生活環境および自然環境を備え、県・市町村の主導で開発された田園都市※2型のニュータウン内の居住区域(付帯する農地や林地などを含む)を各世帯がそれぞれ自由に選択し、帰郷する	7	14.6
5	旧町村と類似した規模と生活環境および自然環境を備え、県・市町村の主導で開発された田園都市型のニュータウン内の居住区域(付帯する農地や林地などを含む)を各世帯が自発的に任意の集団を作り、各集団が自由に選択し、帰郷する	4	8.3
6	旧町村と類似した規模と生活環境および自然環境を備え、県・市町村の主導で開発された田園都市型のニュータウン内の居住区域(付帯する農地や林地などを含む)を各世帯が県・市町村の斡旋で集団を作り、行政と協議し、帰郷する	1	2.1
7	その他の帰郷のイメージを持っている	5	10.4
	不明	6	12.5
	非該当	58	
	全体	48	100.0

累計 (n)	累計 (%)
51	106.3

調査名 [原発事故後のコミュニティ便益の享受と自然環境便益の享受における変化（劣悪化）および今後の生活（就業を含む）再建に関するアンケート]

III-3. 元の県内の市町村に帰郷するまでの許容年数

No.	カテゴリー名	n	%
1	3年以内	14	13.2
2	4～10年	26	24.5
3	11～20年	4	3.8
4	21年～30年	3	2.8
5	31年以上	3	2.8
6	帰郷を断念せざるを得ない	22	20.8
	不明	34	32.1
	全体	106	100.0

III-4. 具体的な転居希望先

No.	カテゴリー名	n	%
1	ある	36	34.0
2	無い	34	32.1
	不明	36	34.0
	全体	106	100.0

III-5. 帰郷後の職業の選択

No.	カテゴリー名	n	%
1	年金受給の継続	27	25.5
2	年金受給まで無職	5	4.7
3	前職への復帰	15	14.2
4	転職	10	9.4
5	その他	18	17.0
	不明	31	29.2
	全体	106	100.0

IV-1. 現在、原発事故原因者（東電や国等）を提訴（訴訟を提起）していますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	提訴している	54	50.9
2	提訴していない	40	37.7
3	提訴を考慮中である	0	0.0
4	その他	1	0.9
	不明	11	10.4
	全体	106	100.0

IV-2. 集団訴訟の原告団に参加されていますか

No.	カテゴリー名	n	%
1	参加している	52	96.3
2	その他の方法で(個人や事業体として)提訴している	2	3.7
	不明	0	0.0
	非該当	52	
	全体	54	100.0

累計	(n)	累計	(%)
	54		100.0

調査名 [原発事故後のコミュニティ便益の享受と自然環境便益の享受における変化（劣悪化）および今後の生活（就業を含む）再建に関するアンケート]

No.	項目名	ページ
144	Ⅱ-1-1FA. 震災後の2011年4月1日時点での避難先	63
145	I-1(4). 避難前の住所	63
146	I-1(3). 年齢	63
147	I-1(6). 居住地域の避難指示区分	63
148	I-2. 回答者の避難前の職業	63
149	I-3-1. 配偶者の年齢	63
150	I-4(1). 避難前の居住形態	63
151	Ⅱ-1-4. 現在の避難先での家族構成	64
152	Ⅱ-1-5(1). 現在の住居	64
153	Ⅱ-1-5(2). 現在の居住形態	64
154	Ⅱ-3-2(1). 避難後の民間・公共施設を利用するレジャー／年間の利用回数の変化	64
155	Ⅱ-3-2(2). 避難後の民間・公共施設を利用するレジャー／年間費用の変化	64
156	Ⅱ-4-1(2). 現在の業種	64
157	Ⅲ-1. 希望する帰郷の形態	64
158	Ⅲ-2. どのような形態の復興住宅を希望しますか	65
159	Ⅲ-2-2. 理想的な帰郷のイメージ	65
160	Ⅲ-3. 元の県内の市町村に帰郷するまでの許容年数	65
161	Ⅲ-5. 帰郷後の職業の選択	65
162	Ⅱ-4-2(3). 職業訓練および人材育成事業での研修期間	66

調査名 [原発事故後のコミュニティ便益の享受と自然環境便益の享受における変化（劣悪化）および今後の生活（就業を含む）再建に関するアンケート]

(144) II-1-1FA. 震災後の2011年4月1日時点での避難先... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	1か所	22	21.0
2	2か所	21	20.0
3	3か所	23	21.9
4	4か所	22	21.0
5	5か所	11	10.5
6	6か所	2	1.9
7	7か所	2	1.9
8	8か所	1	1.0
9	10か所	1	1.0
	不明	1	
	全体	105	100.0

I-1(4). 避難前の住所

No.	カテゴリー名	n	%
1	双葉郡	67	63.2
2	相馬郡	23	21.7
3	その他	16	15.1
	不明	0	
	全体	106	100.0

(146) I-1(3). 年齢... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	10～50代	40	38.1
2	60代以上	65	61.9
	不明	1	
	全体	105	100.0

(147) I-1(6). 居住地域の避難指示区分... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	帰宅困難区域	12	11.5
2	居住制限区域	31	29.8
3	避難指示解除・緊急時避難準備区域	61	58.7
	不明	2	
	全体	104	100.0

(148) I-2. 回答者の避難前の職業... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	農林業・水産業	22	24.7
2	他の自営業	11	12.4
3	会社員・団体職員・公務員	39	43.8
4	年金受給	17	19.1
	不明	17	
	全体	89	100.0

(149) I-3-1. 配偶者の年齢... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	20～50代	34	45.9
2	60代以上	40	54.1
	不明	32	
	全体	74	100.0

(150) I-4(1). 避難前の居住形態... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	戸建持家	96	92.3
2	上記以外	8	7.7
	不明	2	
	全体	104	100.0

調査名 [原発事故後のコミュニティ便益の享受と自然環境便益の享受における変化(劣悪化) および今後の生活(就業を含む) 再建に関するアンケート]

(151) II-1-4. 現在の避難先での家族構成... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	「配偶者と同居」のみ	31	37.8
2	「同居者なし」のみ	13	15.9
3	「配偶者と同居」+「2～7」	29	35.4
4	「2～7」	9	11.0
	不明	24	
	全体	82	100.0

(152) II-1-5(1). 現在の住居... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	避難前の住居	7	7.8
2	行政の応急仮設住宅、みなし仮設住宅	68	75.6
3	上記以外	15	16.7
	不明	16	
	全体	90	100.0

(153) II-1-5(2). 現在の居住形態... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	戸建持家	11	21.2
2	戸建借家	15	28.8
3	上記以外	26	50.0
	不明	1	
	非該当	53	
	全体	52	100.0

(154) II-3-2(1). 避難後の民間・公共施設を利用するレジャー/年間の利用回数の変化... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	減った	43	47.8
2	変化なし	16	17.8
3	増えた	31	34.4
	不明	16	
	全体	90	100.0

(155) II-3-2(2). 避難後の民間・公共施設を利用するレジャー/年間費用の変化... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	減った	36	40.9
2	変化なし	17	19.3
3	増えた	35	39.8
	不明	18	
	全体	88	100.0

(156) II-4-1(2). 現在の業種... (SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	農林業・水産業	2	5.9
2	他の自営業	3	8.8
3	上記以外	29	85.3
	不明	10	
	非該当	62	
	全体	34	100.0

(157) III-1. 希望する帰郷の形態... (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	元の住居あるいは居住コミュニティ(行政区)への帰郷	23	37.1
2	元の市町村内コミュニティ、郡内の元の市町村以外への帰郷	12	19.4
3	福島県内の元の郡以外への帰郷	19	30.6
4	県外への移住	10	16.1
	不明	44	
	全体	62	100.0

累計	(n)	累計	(%)
	64		103.2

調査名 [原発事故後のコミュニティ便益の享受と自然環境便益の享受における変化(劣悪化) および今後の生活(就業を含む)再建に関するアンケート]

(158) III-2. どのような形態の復興住宅を希望しますか...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	戸建の分散居住型、戸建の団地型の復興住宅	35	71.4
2	集合(マンション)型の復興住宅	2	4.1
3	上記以外	15	30.6
	不明	57	
	全体	49	100.0

累計	(n)	累計	(%)
	52		106.1

(159) III-2-2. 理想的な帰郷のイメージ...(MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	各世帯がそれぞれ、自由に帰郷先の地域を選んで帰郷する	24	57.1
2	旧コミュニティ(行政区)に居住していた複数世帯が自発的に任意の集団もしくは、市町村の斡旋で集団を作り、帰郷する	4	9.5
3	上記以外	17	40.5
	不明	6	
	非該当	58	
	全体	42	100.0

累計	(n)	累計	(%)
	45		107.1

(160) III-3. 元の県内の市町村に帰郷するまでの許容年数...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	3年以内	14	19.4
2	4~10年	26	36.1
3	11~31年以上	10	13.9
4	帰郷を断念せざるを得ない	22	30.6
	不明	34	
	全体	72	100.0

(161) III-5. 帰郷後の職業の選択...(SA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	年金受給の継続もしくは年金受給まで無職	32	56.1
2	前職への復帰もしくは転職	25	43.9
	不明	49	
	全体	57	100.0

調査名 [原発事故後のコミュニティ便益の享受と自然環境便益の享受における変化（劣悪化）および今後の生活（就業を含む）  
再建に関するアンケート]

(162) II-4-2(3). 職業訓練および人材育成事業での研修期間...(数量)

合計	24.00
平均	4.80
分散(n-1)	2.70
標準偏差	1.64
最大値	7.00
最小値	3.00
不明	3
非該当	98
全体	5